
短編小説集

アツシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編小説集

【コード】

N5890N

【作者名】

アツシ

【あらすじ】

ここは作者が思いついた小説を書いているところです。
ときどき更新したいと思います。

受験（前書き）

この小説は作者の実話二割とその他八割で書いてます。

受験

俺はいま、ある私立高校に通っている。家の家計は苦しいくせに、だ。

ならなぜ私立にきたのか、おれだって私立に行きたいとは毛頭なかった。

だがある親の言葉で俺の考えが変わってしまった……

俺の親父は俺が物心つく前に死んだ。だからその時のことは正直ほとんど覚えていない。俺には姉と兄がいたのだが、家計を考え公立の中学・高校・国立の大学いった。

しかも凡人には合格できないようなレベルのところだ

そしてあたりまえの様に俺にも期待が寄せられた。おれにとってその期待は正直つらかった。

なぜなら俺は兄や姉ほど賢くなかったからである。期待に応えられないだろうか、その一心だった。

しかしいくら努力しても成績が上がらない。周りの親戚とかの期待している高校には届きそうになかった。

そんな時、三者面談があった。もちろんレベルを下げたらと言われたが、俺は断った。

いままで一生懸命あの高校に合格しようと頑張ってきたのを無駄にしたくなかった。

だがそれ以上に親の期待に答えなかった。俺は死ぬ気で勉強すれば受かるだろうと思っていたのもあるが・・・

だが三者面談で俺の隣りにいる母はこういった。「期待なんてしてないから」

俺はその言葉を聞いた瞬間なにかが崩れた。母親はきっと応援してくれるとおもってたのに。

そして俺は機械的に考えた。期待されていない 期待に応える必要が無い 落ちても良い 勉強しなくていい

三者懇談が終わってから俺は公立高校の受験まで一切勉強しなかった。なぜなら一番信頼していた奴に裏切られたのだから・・・

そして当然結果は不合格、俺はなんとも思わなかった。それよりもこれからの休みをどう満喫するかを考えていた。親が何か言っていたが「あんなこといったやつ」のことなんか気にもしなかった。

そしていまのおれがいる、幸いにも私立にいけるだけの金はあったので入学することができた。支援を受けていたのもあるが・・・

俺は勉強しなかったことに後悔はしていない。むしろ今の私立にこれよかったと思っっている。

俺はまた「あいつ」が大学受験のときに「期待しない」なんていったら、喜んでその大学を落ちる気にいる。

周りがどう言おうと俺はそうする。だが、「期待する」と言うなら俺は「アイツ」なんかでも期待に応えようと全力で頑張るだろう。

だが「アイツ」のことだから俺は期待しない。また裏切ると思っっている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5890n/>

短編小説集

2011年11月12日04時33分発行